

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	音楽基礎 2	
科目基礎情報							
開設学科	音響芸術科		コース名	全コース		開設期	後期
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	2単位					授業形態	講義
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。						
担当教員情報							
担当教員	野瀬 充弘			実務経験の有無・職種		有・作編曲家	
学習目的							
エンタテインメント業界に携わる人間にとって、音楽の学術的な側面・音楽の基礎理論を知る事は、仕事の質を向上させられるだけでなく、人間として・文化人としての教養という観点から見ても大切な要素である。							
到達目標							
本科目での到達目標は音響の仕事についた時、そしてその採用試験対策として必要な音楽のコミュニケーションツールとしての譜面を理解できるようになること。譜面の構成の仕方、音符休符の種類、リズムの表記法、音名を理解し、それらを読むことができること。音楽用語、標語、記号を覚えて書くことができ、活用できるようになること。コードについての音構成、表記を理解できるようになること。それらコードの響きの違いもわかるようになること。音を科学的に知り、聴けるような知識を身につけること。楽器の種類とその楽器に関する知識、音楽ジャンルとその特徴や歴史的背景を知ること。							
教育方法等							
授業概要	教科書、または、プリントを元に板書、説明。各自わかりやすいようにノートをとってもらう。その後、テスト問題にて確認。						
注意点	前週の内容を再確認し、翌週の授業に臨むこと。 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する				
	小テスト	0%					
	レポート	0%					
	成果発表 (口頭・実技)	0%					
	平常点	50%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	イントロダクション			前期の復習と確認（小テスト）			
2回	音楽基礎1各項目の確認			インターバル・コード・調性についての再確認			
3回	コードに対する考え方①			ダイアトニックコードについて			
4回	コードに対する考え方②			コードネームとディクレー標記			
5回	コードに対する考え方③			コードの機能とケーデンスについて①			
6回	コードに対する考え方④			コードの機能とケーデンスについて②			
7回	楽曲におけるコードテクスチャー①			部分転調という概念について			
8回	楽曲におけるコードテクスチャー②			近親調におけるダイアトニックコード			
9回	楽曲におけるコードテクスチャー③			モーダルインターチェンジ他のテクニック			
10回	音楽のジャンルと作品分析①			楽器法やアナリゼーに関して			
11回	音楽のジャンルと作品分析②			クラシックジャンル			
12回	音楽のジャンルと作品分析③			J A Z Zジャンル			
13回	音楽のジャンルと作品分析④			音楽・音響の効果と使用方法について			
14回	総合的復習			ヒアリングを含む総合的復習			
15回	試験説明と確認			期末試験についての説明と準備			